

地上型3Dレーザスキャナ紹介

3Dレーザスキャナの特徴

地形、地物の形状を3次元で高密度・高精度に計測することができ、3次元モデルをあらゆる角度からデータを確認することができます。
最大1,400mまで計測でき、危険なエリアも安全かつ広範囲にデータ取得することができるため、人員のコストダウンにもつながります。

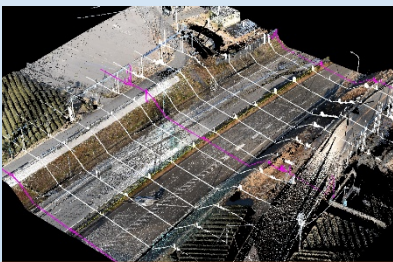


スキャナー	VZ-1000
アイセーフクラス	レーザークラス1
最大測定距離	1,400m / 700m
最短距離	2.5m
精度 / 確度	8mm / 5mm
有効測定レート	122,000 測定 / 秒
鉛直スキャン	100° (+60° / -40°)
水平スキャン	最大360°

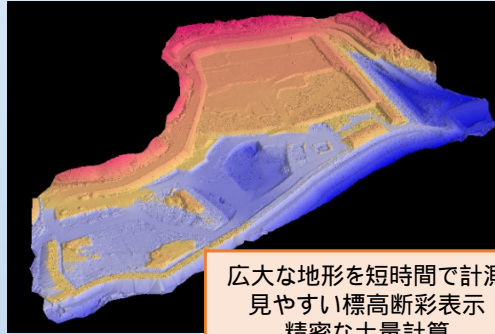


幅広い利活用

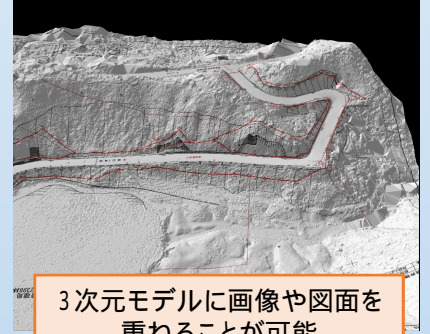
- ・i-Constructionに対応した3次元計測
- ・都市計画等による改修前の現況把握
- ・3次元モデルによる路線測量
- ・精密なボリューム計算
- ・図面ではわかりづらい形状を3Dで表現



立入が困難な場所も安全に計測
断面等も自由に設定可能



広大な地形を短時間で計測
見やすい標高断彩表示
精密な土量計算

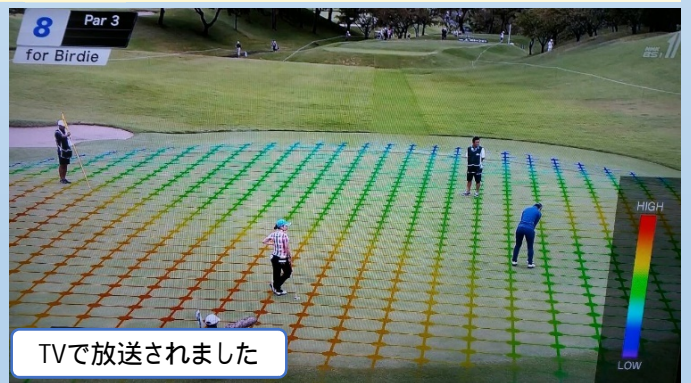


3次元モデルに画像や図面を
重ねることが可能

ゴルフ場計測



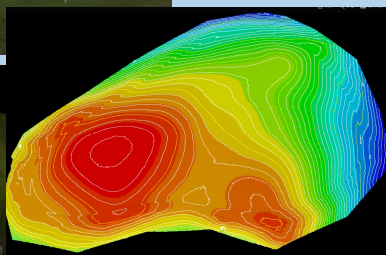
TV放送に向けて
ゴルフコースを3次元計測



TVで放送されました



3次元モデル

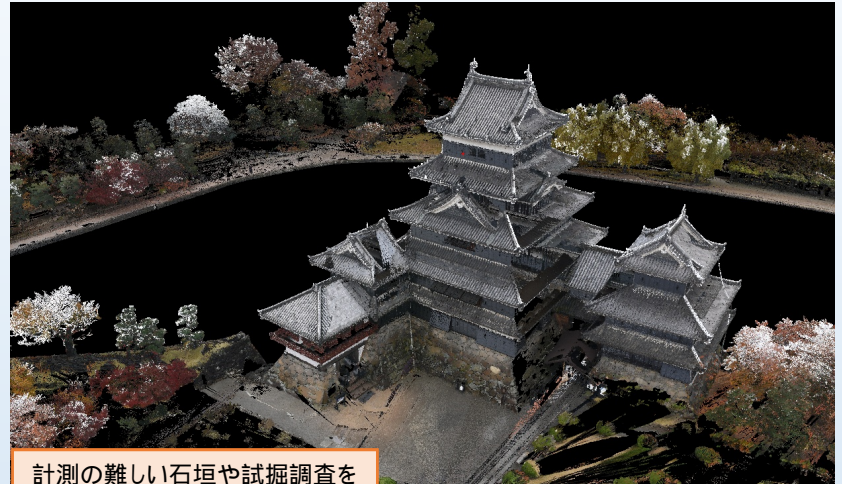


目視では確認できないような
微妙な高低差を表現

メディア関係でも活躍

TV放送に向けて映像では捉えにくい高低差を3次元モデルで表現しました。
グリーンに立って視てもわからないくらいの微妙なアンジュレーションをリアルに表現することが可能です。
高低差を2cm間隔の等高線とカラー断彩で表現したデータを提供し、CG加工された映像がTV放送されました。

重要文化財計測



計測の難しい石垣や試掘調査を
3次元で立体的にデータ保存



文化遺産の計測

接触できない史的建造物や石垣などは3Dレーザ計測が有効です。精密な3次元データは復元や復旧に大きく貢献します。試掘調査のような埋戻しで再測できないものは丸ごと3次元で保存し、3次元モデルを好きな角度から断面を切ったり、距離を測定することができます。

側面図や断面図を任意で作成可能



車載による3次元計測 (stop & go)

連続計測でさらに効率化

車に搭載したstop & goは計測から移動をスムーズに行えるため、より効率的に3次元計測が可能になります。高い位置からの計測はより広範囲にデータが取得できるため、有効な計測方法になります。

雨天、夜間も計測可能



地上型3Dレーザスキャナ活用分野

- ・測量業務全般・・・現況測量、路線測量等
- ・都市景観・・・景観や歴史的町並みをデジタルアーカイブとして保存
- ・土木建設・・・i-Construction、CIM、BIM対応
- ・文化遺産・・・文化財を3次元保存、復元等に使用
- ・トンネル・・・変位計測、維持メンテナンス
- ・橋梁・・・設計図のない橋梁の図化、メンテナンス
- ・土量計算・・・断面法より正確なボリューム計算
- ・災害現場・・・安全かつ迅速に復旧対応
- ・河川ダム・・・ハザードマップ等

SHOWA 昭和株式会社

昭和株式会社 測量空間情報室
〒341-0018 埼玉県三郷市早稲田4-15-1
TEL:048-957-7554 mail:ms_sok@sho-wa.co.jp